



公益財団法人  
草津市コミュニティ事業団  
ロクハ荘



人生ちよつと・いい話!

「朝何時も通りロクハ公園の池の周りと公園内を散歩する合計二キロの道のり、これが私の健康法」今回登場頂いたのは、長浜市余呉町出身のKさんです。「二歳で職業軍人だった父親を亡くし、写真でしか知らない」●現在七十五歳のKさんの時代の方は、多かれ少なかれ戦争の悲惨さやその時代に置かれた悲しみを味わった経験をお持ちの方が多くいます。●昭和三十六年高等学校卒業、当時余呉は就職先が少なく安定した生活を考えると国鉄・ヤマ・三菱樹脂等大手はあるものの中々難しくも、その後草津市役所に無事就職を果たし、公務員生活がスタートしました。●「自身の人生のその後に大きな影響を与える高校時代の事を少しお話し頂きました。終戦後アメリカ軍が滋賀県下の高校八校に寄付したアメリカンフットボールの道具一式は、当時珍しかったと思われるこのスポーツがKさんの人生に大きく係ることになります。

スポーツ全般も含め社会にはそれぞれにルールがあり、そのルールに従って事は動きます。もしそのルールを逸脱してしまふと社会でも同様に、記憶に新しい日大のルール無視の事件・事故となることは記憶に新しいでしょう。

●Kさんは三年間ボールを追いかけることによって、仲間との信頼関係や友情・社会におけるルールを身に付けます。●この事は、Kさんと話しているときと非常にまじめな方で有る事のベースになつているのでしよう。それはご両親からの教えも有るでしょう。しかしアメリカンフットボールというスポーツに青春時代にやっていた事も含めれる筈です。●そのことは市役所勤務の中でも発揮され、当時、青少年の遊び場が無かった為、労働省関係の勤労青少年のためのホームが設立され、その勤務で評価される結果となりました。奥様も長浜出身、奥様の父親も公務員だった関係から顔見知りになり初めて見た奥様に一目ぼれし結婚、「ご夫婦にはお子様が二人、「若い時は夫婦喧嘩もしましたよ」と笑顔!結婚生活四十五年。これからもお元気で是非、金婚式を迎えて欲しいです。

●「スポーツ観戦が大好きです。それが趣味だそうです。(話の最中でご自身がやってきたアメリカンフットボールのルールに熱弁をふるっていただきました)●「これまでの人生で父親が職業軍人として家族を支えてくれたように、私も何とか役所勤めをはたしながら家族を養ってきました。それが一番嬉しかったかなあ」しみじみと語る顔を見ながら一息ついて、「辛かったことは、授業参観に父の顔が見えなかったこと、片親育ちと言われたことです」片親の為、欲しいものも買つて欲しいと言えない時代です」と寂しいような顔をしながら昔を思い出す様子は私の母を思い出します。母は病弱だったため授業参観というと祖母の役目でした。「母に見に来てほしかった」とふと昔を・・・●平成二十三年、突然脳幹出血を患います。大事には至らずもリハビリを余儀なくさせられます。●しかし持ち前のまじめさと辛抱強さは、この話の冒頭で「毎朝歩いていきます」と繋がり毎日ロクハでのお湯を楽しむまでになりました。「今は子や孫に囲まれ幸せ」心からありがとうございます。この話の終わりを迎えました。培った心の強さ、ルールを守る事はKさんの人生を象徴しているかもしれません。元気を頂きありがとうございます。

編集後記

今回のお話を通しては「ルール」という言葉が胆だったように思います。世の中も生活をする上で様々なルールが存在し、守る事で安全な生活があります。ルールを逸脱した場合、そこに不具合が生じ、他の人に迷惑をかけるような事が生じます。人それぞれにも自分に課したルール」が有ります。「挨拶をする」「人に迷惑かけない」等など、小さい頃、親から教えられる、近所のおじさんやおばさんに叱られながら社会のルールを学んできました。一方、それは現代社会にはそぐわない状況になっていく傾向が見えます。何故なのでしょう?「向う三軒両隣」と言う言葉が懐かしいです。

